

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	成人看護学援助論Ⅳ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	赤木 恭美	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

人生最期のとき終末期という病気の一定の時期に限らず、苦痛を全人的苦痛として捉え、緩和する知識技術について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

小テスト、ミニレポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 医学書院 参考図書は授業中に随時紹介する

《授業外における学習方法》

講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、ミニレポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	エンド・オブ・ライフケアの概念と必要なケアについて述べるができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人 看護学総論 医学 書院	教科書の該当単元をよくよ んでおく
	各コマにおける授業予定	エンド・オブ・ライフケアにおける看護 1) 苦痛緩和と意思決定支援 2) ACP 3) 家族ケア		
第2回	授業を通じての到達目標	がん患者の苦悩とその生活のあり方について述べるができる	授業配布資料	授業資料の復習
	各コマにおける授業予定	がん看護:がん患者の苦痛と生活上の困難		
第3回	授業を通じての到達目標	化学療法・放射線療法を受ける患者の看護について説明できる	授業配布資料	授業資料の復習
	各コマにおける授業予定	がん看護:化学療法・放射線療法を受ける患者の看護		
第4回	授業を通じての到達目標	緩和ケアの概念と日本における動向について述べるができる	授業配布資料	授業資料の復習
	各コマにおける授業予定	緩和ケアの歴史と現状、その対象		
第5回	授業を通じての到達目標	緩和ケアに必要な症状マネジメントについて述べるができる	授業配布資料	授業資料の復習
	各コマにおける授業予定	緩和ケアに必要な症状マネジメント 1) 疼痛管理 2) がん関連倦怠感 3) がん食欲不振		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階における倫理的課題と看護師の役割について述べることができる	授業資料の復習	授業資料の復習
		各コマにおける授業予定	死をめぐる倫理的課題と看護師の役割		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケア時の社会的側面、スピリチュアルな側面について自分の考えを述べるができる	授業資料の復習	授業資料の復習
		各コマにおける授業予定	緩和ケアにおける社会的側面とスピリチュアルなケア		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギー疾患のある患者の看護について説明できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	アレルギー:アレルギー疾患のある患者の看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	膠原病・自己免疫疾患がある患者の看護について説明できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	膠原病・自己免疫疾患がある患者の看護(リウマチなど)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症による疾患のある患者の看護について説明できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	感染症による疾患がある患者の看護		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球系の異常のある患者の看護について説明できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液 造血器 医学書院	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	血液・造血器疾患:赤血球系の異常のある患者の看護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血系腫瘍のある患者の看護について説明できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	造血系腫瘍のある患者の看護		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	より意思決定支援のあり方について自分の考えを述べるができる	授業資料の復習	GW課題に向けて自身の考えをまとめておく
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階における意思決定に関する事例検討(GW)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	より意思決定支援のあり方について自分の考えをプレゼンできる	授業資料の復習	GW課題に向けて自身の考えをまとめておく
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階における意思決定に関する事例検討(発表)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業を振り返り、自身の死生観や終末期医療に関する考え方を述べることができる。	授業資料の復習	死生観に関するレポートをまとめる
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階にある患者の看護についてのまとめ		